

〇〇さまでございますね？」のように「ございます」を相手に使うのは間違い？

「ございます」は、「在る」の丁寧語として「この先に公園がございます」、また「(で)ある」の丁寧語として「この先が公園でございます」のように用いられます。ご質問にある「ございます」は、「(で)ある」の丁寧語として用いられるものです。

「(で) ございます」は丁寧語であることから、聞き手について用いても差し支えないように考えられますが、実際にはご指摘のようにやや不自然さが伴います。

田中さんでございますか。

cf. 田中さんでいらっしゃいますか。

お元気でございますね。

cf. お元気でいらっしゃいますね。

ひとつには、「(で) ございます」と「(で) いらっしゃる」の敬語としての性質の違いが考えられます。丁寧語の「(で) ございます」は、話し手の発話態度が丁寧なものであることを示すことによって聞き手への敬意を表すものです。これに対して、「(で) いらっしゃる」は尊敬語ですから、主語となる聞き手を直接的に高めるものです。このため、尊敬語の「(で) いらっしゃる」を用いることがより適切であると感じられるのではないのでしょうか。

また、「(で) ございます」は、「である」の丁寧語である「です」よりさらに丁寧な形式であるという点を挙げることができます。「(で) ある」の丁寧語「です」を用いず、さらに丁寧な形式「(で) ございます」を用いていながら、尊敬語を用いないということが不自然な印象につながっているとも考えられます。